

膣脱・子宮脱

牛の病気は多種多様です。今回は、膣脱・子宮脱について、予備知識と予防法を紹介します。

膣脱は、骨盤周囲の諸靭帯の弛緩、腹圧の増加により、膣壁の一部が膨らみもあり、外陰部外に反転脱出することをいいます。

子宮脱は、分娩後数時間以内に多発し、子宮が懸垂している子宮広間膜が弛緩し子宮が反転し外陰部外に露出します。



子宮が反転し、外陰部外に露出
多くの宮ふをみる事ができる

原因

- 難産、胎盤停滞に伴う後陣痛。

- 母牛の遺伝的要因。

- 飼養管理の失宜（ビタミン・ミネラル等の不足）。

- 運動不足及び過肥による骨盤周囲の諸靭帯、子宮広間膜の弛緩（特に膣脱は肥育末期牛、乾乳期の過肥牛のおおくみられます）。

症状

- 膣脱は、程度によりこぶし大から人の頭大の膣が反転脱出します。

- 脱出した膣粘膜は、時間の経過とともに浮腫を認め、細菌感染による炎症を起し著しい怒責を伴います。

予防法

- 牛床を前低後高になるように工夫します。

- 適度な運動と十分な日光浴並びにビタミン剤・ミネラル等を投与。



膣が反転し、ほとんど全部が外陰部外に脱出している

- 子宮脱は、子宮が反転し外陰部外に露出します。
- 脱出した子宮粘膜は、うっ血し著しい浮腫を認め、損傷・出血の著しい場合は貧血を来とし、脱水症に陥り死亡することがあります。



妊娠末期牛の伏臥時の膣脱

- 分娩前は、良質粗飼料を主体に給与し体調を整え、過肥に注意します。
- 発症した場合には安静にし、脱出した子宮粘膜の損傷を防ぎ、また乾燥及び細菌感染予防のため脱出部を布等で包み、その上から三十七度の希釈した消毒液を注ぎ、速やかに獣医師に連絡しましょう。